

港北ボランティアガイドツアー

春の二ヶ領用水を歩く



「二ヶ領用水」とは、江戸時代初期に開削された農業用水路です。川崎市の多摩川に沿った広いエリアに水を引き込み、稲作や地域住民の生活の水を供給してきました。現在では水辺の自然と景観を楽しむ環境用水として人々に親しまれています。桜やさまざまな花が咲き始める季節、春の気配を味わいながら、水の恩恵を得るために、先人たちが注いだ知恵と努力の跡を見ながら歩いてみましょう。



岸辺に桜咲く二ヶ領用水



先人の知恵が伺える久地円筒分水



用水への取水口 宿河原の堰

実施日：令和8年3月24日(火)

集合：午前 9時30分 JR 武蔵溝ノ口駅(改札出て右の広場)

コース：武蔵溝ノ口駅⇒曙橋から二ヶ領用水沿いへ⇒久地円筒分水(国の登録有形文化財)⇒久地駅⇒川崎市緑化センター⇒宿河原の堰⇒二ヶ領せせらぎ館⇒登戸駅 (約6km、解散予定 12時半ごろ)

参加費：500円(保険料・資料代等)

持参品：飲み物、帽子、マスク、雨具等

※少雨決行ですが、各種の警報発令時などは中止する場合があります。中止の場合は前日の20時ごろ「港北ボランティアガイドの会」のホームページ(<https://kouhokuvlg.yokohama>)に掲載します。問合せは、応募締切後に送付する当選案内に記載の担当者へ直接ご連絡ください。

※服装、履物は歩き易い物をご着用ください。

※万一事故発生の場合、主催者は加入保険の給付以外では責任を負いません。

●募集人数：80人(応募者多数の場合は抽選)

●応募締切：3月10日(火) 必着

●応募方法：「港北ボランティアガイドの会」ホームページ内の申し込みフォーム

または往復はがきにて。往復はがきには、

① ツアー名「二ヶ領用水」

② 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号

<複数人の応募のときは全員の氏名(ふりがな)・年齢>

③ 返信用はがきの宛名面に、ご自身の住所・氏名

をご記入の上、下記宛てにお申し込みください。

※右の QR コードから申し込みフォームにアクセスできます。

※往復はがきの宛先 〒222-0032 港北区大豆戸町 26-1 港北区区民活動支援センター



3/24二ヶ領申込み

申し込みフォームはこちら

主 催：港北ボランティアガイドの会

『港北ボランティアガイドツアー』これからの予定

◎2026年度 上半期

◆4月11日(土) こうほく再発見シリーズ「岸根から新横浜へ歴史を求めて」

岸根公園駅 → 岸根公園 → 貴雲寺 → 琵琶橋 → 岸根杉山神社 → 東林寺 → 篠原八幡神社 → 新横浜駅

※琵琶橋跡が整備されました。「わがまち・こうほく」の歴史を再発見しましょう。

◆5月23日(土) こうほく再発見シリーズ「松の川緑道と古刹めぐり」

高田駅 → 塩谷寺 → 興禅寺 → 松の川緑道 → 真福寺 → 金蔵寺 → 日吉駅

※新緑の季節です。「わがまち・こうほく」の自然と歴史を堪能しましょう。

◆6月5日(金) 「蛍を求め夕暮れの四季の森公園へ」

中山駅 → 四季の森公園プロムナード → 四季の森(北口→展望台→紅葉の森→菖蒲園→芦原湿原(蛍鑑賞)→北口ビジターセンター) → 中山駅

※夕方からのツアーです。自然の中で蛍を鑑賞しましょう。

◆9月30日(水) 「青葉区の史跡を巡り寺家ふるさと村を訪ねる」

市ヶ尾駅 → 市ヶ尾竹下地蔵堂 → 市ヶ尾横穴古墳群 → 旧旅籠綿屋 → 八雲神社 → 薬王寺 → 稻荷前古墳 → 文学碑 → 鶴見川 → 鴨志田橋 → 甲神社 → 四季の家 → 寺家ふるさと村・ふるさとの森 → 鴨志田団地(バス) → 青葉台駅

※古墳、神社・仏閣などを巡り、里山風景の残る寺家ふるさと村を訪れます

☆新コースです。

★「こうほく再発見シリーズ」は、港北ボランティアガイドの会が2026年度から新たに始めるツアーのシリーズです。港北区役所発行のウォーキングマップに紹介されているコースを中心に、区内の魅力ある場所を要領よく回るツアーです。

※日程は2026年1月時点での予定です。日程・コース等を変更することがありますので、詳しくは下記の「港北ボランティアガイドの会」のホームページでご確認ください。

「港北ガイド」で検索 ⇒ <https://kouhokuvlg.yokohama/>
右のQRコードからもアクセスできます。



各ツアーの応募締切は、ツアー実施日の約2週間前です。